

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当） 殿

高知県 黒潮町

個別避難計画作成モデル事業（市町村事業）最終報告書

令和4年度【内閣府事業】避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成の推進において、モデル事業（市町村事業）の実施にあたり、最終報告書を提出します。

【市町村情報、事業概要】

| | | | | |
|------------|---|-----|-----|---|
| 都道府県名 市町村名 | 高知県 黒潮町 | | | |
| 所在地 | 〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野5893番地 | | | |
| 担当部局連絡先 | 健康福祉課福祉係 0880-43-2124 | | | |
| 連携部局連絡先 | 情報防災課消防防災係 0880-43-2188 | | | |
| 事業概要 | 都道府県と一体的に行う事業で | あ る | な い | ○ |
| 備考 | 黒潮町は平成18年に大方町と佐賀町が合併。当時の人口は14,000人、高齢化率は、31%であった。令和5年2月末日の人口は10,404人、高齢化率45.7%となった。 平成24年に日本一の津波高が公表され、住民の多くが不安を感じていたが、町が一丸となり「防災のまちづくり」が始まり、町はハード整備を続け、命を守る取組を行ってきた。住民側もまちとともに防災意識が高まり、自主防災活動も積極的に行われている。しかし、課題として高齢者や障がい者などの要配慮者の避難支援について、平成24年度より行っているが、支援方針の確立や取組が十分できているのか検証ができていないのが現状であった。昨年度の個別避難計画作成モデル事業も含め、これまでの取組を整理し、防災をテーマに、住み慣れた地域で健康で安心して暮らすことができるまちを目標に、要配慮者の避難支援について考え、実効性のある取組を目指す。 | | | |

※本様式は、10月20日時点で御提出いただいた「様式1-1 個別避難計画作成モデル事業（市町村事業）中間報告書」の内容と基本的に同様のものです。内容について更新等の必要がない場合、様式1-1と同じ内容をそのまま記載いただいて差し支えありません。

※記載内容を補足する資料があれば、必要に応じて添付してください。

※上記項目について、必要に応じ参考資料や補足資料を添付して差し支えありません。参考資料や補足資料はPowerPointなど任意の様式で可とします。（その場合は、項目の欄に参考資料が添付されていることを記載してください）

※任意の様式を使用する場合も、用紙サイズはA4判としてください。

※連絡先、担当者に変更があり、担当者名簿に変更が必要な場合、その旨を備考欄に併記してください。

市町村の事業概要等に関する取組の実施結果】（高知県 黒潮町）

| 記載項目名 | 令和4年度末時点の状況 |
|----------------------------|---|
| 【1】 市町村事業名 | 黒潮町要配慮者避難支援対策推進事業 |
| 事業概要 | 避難行動要支援者名簿を活用した実効性のある避難支援対策をスピード感をもって取組を進めることなどを目的に、名簿情報に基づく個別避難計画を作成・更新し、計画に基づく避難訓練を行いながら計画の検証を実施する。 |
| 【2】 事業実施体制 庁内の連携体制 | <p>【主管課】 黒潮町健康福祉課（担当職員 兼務1人、会計年度任用職員1人）</p> <p>【連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報防災課（防災対策の統括、課題整理、行政間のコーディネート、進捗状況管理等） ・地域住民課（支所の防災担当、福祉担当であるため、情報の共有、活動を共にしていく） ・防災地域担当職員（全職員が配置、地区防災の取組） |
| 【3】 事業実施体制 庁外との連携体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内の介護事業所（特別養護老人ホームを運営する法人1、介護医療院1、居宅介護事業所3） ・町内の障害事業所（障害者支援施設を運営する法人2、相談支援事業所2）※ ・社会福祉協議会 ※ 《事業委託》 ・民生児童委員協議会（2協議会）※ ・区長会、自主防災組織 ※ ・消防団 ・NPO法人（あつたかふれあいセンター運営1 ※） ・障害児等保護者交流会1 ※ ・町内介護事業所連絡会1 ・聴覚障害者手話サークル1 ・小中学校、県立高校 ・各事業所ケアマネージャー <p>※ 福祉避難所協議会メンバー</p> |
| 【4】 モデル事業の実施 内容、実施方法 | <p><地域調整会議の実施></p> <p>福祉部局から福祉専門職及びあつたかふれあいセンターに名簿及び個別避難計画素案を配布し、社協が日程調整を行い関係者が集まり実施する。『土砂災害』『地震・津波』『南海トラフ地震臨時情報』に対応する個別避難計画を作成する。</p> <p>日頃から関りのある、福祉専門職やあつたかふれあいセンターは、本人の状態の変化で個別避難計画の更新が必要であると感じたら、福祉部局に申し出を行い、随時地域調整会議を実施し、個別避難計画を更新する。</p> <p>実施状況としては、5地区となっている。年度内に他2地区を実施予定。</p> <p>また、個別避難計画に基づいた避難訓練を4名実施した。あわせて、福祉避難所の開設運営訓練も2回実施。</p> <p><課題></p> <p>地域調整会議には参加者が多く、日程調整に時間を要するため、実施状況に遅れがある。そのため委託先の社協とより連携し、より細かいスケジュール管理を実施する。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| 【5】 アピールポイント | <p>令和3年度からの福祉専門職の参画を今年度さらに深化させる。また、福祉専門職がいない方は地域福祉拠点と連携し取組を進める。加えて、地区防災と連動できるように地域住民や地域担当（行政）を交えた地域調整会議を実施し、個別避難計画作成を進めていく。また、実効性の確保のために、個別避難計画に基づいた避難計画を実施している。</p> <p><実施状況></p> <p>【4】のとおり。</p> <p>福祉専門職の参加については、法人にも依頼文を发出し、ご理解いただき実施している。また、あったかふれあいセンターも日々の見守りに加え、災害時の避難等にもご協力いただいている。令和4年台風14号では福祉避難所へのスムーズな避難が実施できた。</p> |
| 【6】 事業による 成果目標 | <p>地域主体の防災を深化させるため、地域福祉拠点との連携を強化 福祉専門職等の参画を得て、個別避難計画作成の取組を強化 個別避難計画の作成</p> |
| 【7】 事業実施 スケジュール | <p><実施済み>※地域調整会議及び避難訓練抜き</p> <p>4月18日：福祉防災部局協議</p> <p>5月20日：ケアマネ連絡協議会にて取り組み再依頼</p> <p>6月11日：福祉避難所開設運営訓練及び個別避難計画検証</p> <p>8月26日：地域調整会議事前協議（地区と打ち合わせ）</p> <p>8月29日：福祉避難所用簡易無線テスト（災害時）</p> <p>10月20日：福祉防災部局協議</p> <p>11月18日：大方高校防災デイ</p> <p><個別避難計画に基づく避難訓練></p> <p>7/14、10/18、1/12、2/19</p> <p><地域調整会議></p> <p>9/13、10/25、11/28、11/30、1/10、3/15</p> |
| 【8】 特記事項 | |

※上記項目について、必要に応じ参考資料や補足資料を添付して差し支えありません。参考資料はPowerPointなど任意の様式で可とします。（その場合は、項目の欄に参考資料が添付されていることを記載してください）

※任意の様式を使用する場合も、用紙サイズはA4判としてください。

※【市町村の事業概要等に関する取組の実施結果】は1ページ以上2ページ程度としてください。

※【2】～【5】については、次の点を記載してください。〔これ（最終報告）までに行った取組（検討したことを含む）、現時点における課題、課題を踏まえた対応の方向性〕

※【2】及び【3】については、第4回ノウハウ共有ミーティングの意見交換会用資料として作成いただいた、「●●市の背景や取組の概要など」を基に記載してください。

応募の要件に関する取組の実施結果（高知県 黒潮町）

| 要件 | 令和4年度末時点の状況 |
|---|---|
| (A) 市町村の防災担当や福祉担当等の関係部署が共同して事業を実施する体制があること。 | <p>4月18日に福祉防災部局協議を行い、連携体制を再確認。</p> <p>個別避難計画の検証（訓練）や地域調整会議等について福祉部局と防災部局が実施している。</p> <p>個別避難計画の検証（訓練）×4回</p> <p>地域調整会議×6回</p> |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|------|---------------------------------------|------|------|------|----|----|-----|--|--|--|
| (B) 地域の介護・福祉に関する職種団体等、庁外の関係者と連携した取組であること。 | 福祉避難所に対して、避難する方の情報（個別避難計画）を事前に提供を行うこと等の協議を黒潮町福祉避難所協議会と行い、福祉避難所と連携して個別避難計画の検証（訓練）を実施。（7/14、10/18、1/12、2/19）今年度からは福祉専門職の参画がある。 9/13、10/25、11/28、11/30、1/10、3/15に開催した地域調整会議にケアマネとあったかふれあいセンターが参加した。 | | | | | | | | | | | | |
| | 障害のある人の当事者団体や難病の患者会、支援団体等と連携した場合、その団体等の名称 | | | | | | | | | | | | |
| (C) 個別避難計画を作成する者の優先度を検討し、要支援者の心身の状況に応じた作成プロセスを構築する取組であること。 | 住民基本台帳人口 R5年2月28日現在 [人数] | 避難行動要支援者名簿に 記載等されている要支援者 [人数(対人口比)] | | 個別避難計画作成の 優先度が高い要支援者 [人数(対人口比)] | | | | | | | | | |
| | 10,404人 | 243人(2.3%) | | 243人(2.3%) | | | | | | | | | |
| ○優先度の考え方の概要 町の規模が小さいことから、特段の優先度を決めずに作成する。 ○要支援者の心身の状況に応じた作成プロセスの概要 地域調整会議を実施したうえで、個別避難計画を作成 令和4～5年度で作成予定。（同意者のみ） | | | | | | | | | | | | | |
| (D) 個別避難計画を実際に作成し、訓練など実効性の確保に取り組むこと。 | 個別避難計画の作成の取組方針 | 作成件数(実績) | | 作成件数(予定・見込) | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | | | | | | |
| <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%; text-align: center;">11</td> <td style="width:15%; text-align: center;">33</td> <td style="width:15%; text-align: center;">150</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> </tr> </table> | | | | | | | | 11 | 33 | 150 | | | |
| | 11 | 33 | 150 | | | | | | | | | | |
| ○訓練など実効性を確保する取組の概要 令和4年7/14、10/18、1/12、2/19に個別避難計画に基づいた訓練を実施し、計画の検証等を行った。 令和3年度にも訓練を実施していたことから、令和4年台風4号の際にはスムーズに福祉避難所へ避難することができた。 | | | | | | | | | | | | | |
| 個別避難計画の様式を作成する上で留意した事柄。（留意したいと考えている事柄。） | 地域や家族との関係性、住宅環境を配慮した計画とする。 また、「地震津波」「予測災害」「南トラ地震臨時情報」の三種類の計画を作成していく。 「地震津波」についてはハードルが高いため、地域と支援者等をしっかりと検討する。 | | | | | | | | | | | | |
| (E) これまでにモデル地区などで先行的に実施した取組を市町村内の広い地域で展開すること。 | 地域調整会議を全地区で開催し、地域担当職員が参加することで、これまでの地区防災の取組やノウハウの共有等が可能。 また、オブザーバーとして参加している有識者の方と連携し、取組を展開していく。 | | | | | | | | | | | | |
| (F) 作成の優先度が高い避難行動要支援者の個別避難計画の作成に令和3年度から5年間で取り組むこと。 | 作成の優先度が高い要支援者の個別避難計画の作成の取組方針 | 作成件数(実績) | | 作成件数(予定・見込) | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | | | | | | |
| <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%; text-align: center;">11</td> <td style="width:15%; text-align: center;">33</td> <td style="width:15%; text-align: center;">150</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> </tr> </table> | | | | | | | | 11 | 33 | 150 | | | |
| | 11 | 33 | 150 | | | | | | | | | | |
| ○5年間でどのようにして優先度の高い人の計画を作成するか（取組の概要） (C) 及び (D) のとおり。 | | | | | | | | | | | | | |

【ステップごとの取組の実施結果】(高知県 黒潮町)

| ステップ | | 実施結果 ◎,○,△,▲ | 記載事項 | 記載欄 |
|------|--|-----------------|----------------|--|
| 1 | 庁内外における推進体制の整備、個別避難計画の作成・活用方針の検討 | ◎ | 課題 | 福祉専門職の参画。(通常業務が多忙) |
| | | | 取組内容 (取組方針) | 地域調整会議や個別避難計画のために参画してもらうことを令和3年度から協議しており、今年度から本格的に参加。 |
| | | | 取組の 成果・結果 | 参画を得ることができた。また、より詳しい内容の協議ができた。 |
| | | | 理由 | これまでの関係性があったことや、説明を十分に実施してきた。 |
| 2 | 計画作成の優先度に基づき対象地区・対象者を選定 | ◎ | 課題 | 優先度は特に設定していない。しかしながら、名簿の精査ができていない地区がある。 |
| | | | 取組内容 (取組方針) | 令和4年度と5年度にかけて全地区で地域調整会議を実施し、名簿の精査を行う。 |
| | | | 取組の 成果・結果 | 6か所で地域調整会議を実施し、名簿の精査ができた。 |
| | | | 理由 | 地域の関係者や専門職が集まることで、より詳しい協議ができた。 |
| 3 | 福祉や医療関係者等に個別避難計画の意義(目的、制度概要、作成の必要性等)や事例を説明 | ○ | 課題 | それぞれの個別避難計画への意識の差。 |
| | | | 取組内容 (取組方針) | 関係者へは十分な説明を行ったうえで、地域調整会議の実施や避難訓練を実施。 |
| | | | 取組の 成果・結果 | ご理解いただき、参加していただいた方(団体含む)はいた。一方で理解はあるが、所属団体の理解が得られず、参加できなかった方もいた。 |
| | | | 理由 | この取組をさらに広域的に展開(説明)していく必要がある。 |
| 4 | 避難支援者となる自主防災組織や地区住民に個別避難計画の意義や事例を説明 | ○ | 課題 | それぞれの地域の意識差。 |
| | | | 取組内容 (取組方針) | 区長会や消防団幹部会で説明を実施。また、問い合わせ等があった地区には個別に説明を実施。 |
| | | | 取組の 成果・結果 | 特段の反発はなく地域調整会議が実施できた。 |
| | | | 理由 | 丁寧に説明を実施したことや、これまでの地区防災の取組から理解を得ることができた。 |
| 5 | 市町村における本人の基礎情報の収集、関係者との事前調整等 | △ | 課題 | 福祉専門職の事前調整(日程調整等)に時間を要する。 |
| | | | 取組内容 (取組方針) | 基礎情報は庁内各係と連携して収集。地域調整会議を実施する際は委託先(社協)から調整を依頼。 |
| | | | 取組の 成果・結果 | 基礎情報を基に個別避難計画の素案を作成し、6か所で地域調整会議を実施した。(予定数よりは少なかった) |
| | | | 理由 | 関係者が多いほど時間がかかる。 |
| 6 | 市町村、本人・家族、福祉や医療関係者等による個別避難計画の作成 | △ | 課題 | 福祉専門職が参加した地域調整会議の実施 |
| | | | 取組内容 (取組方針) | 地区、行政、福祉専門職等が集まり、地域調整会議を実施し、個別避難計画を作成する。 |
| | | | 取組の 成果・結果 | 地域調整会議を実施した地区について名簿の精査を合わせて、個別避難計画を作成したが、会議の実施数が少なかった。 |
| | | | 理由 | コロナウイルス影響で地域調整会議が実施できなかった。 |
| 7 | 作成したら終わりではなく実効性を確保する取組を実施 | ○ | 課題 | 本人の防災意識。 |
| | | | 取組内容 (取組方針) | 本人宅への訪問等を行い説明。その後は個別避難計画に基づいた避難計画の実施。 |
| | | | 取組の 成果・結果 | 4名の避難訓練を実施。実施後には発言等から防災意識の向上が見られた。 |
| | | | 理由 | 関係性の構築や、実際に訓練をやってみることで、避難のハードルを下げることができた。また、主体性が生まれた。 |

- ◎：成果を十分得ることができた
- ：一定の成果を得ることができた
- △：あまり成果を得ることができなかった
- ▲：ほとんど成果を得ることができなかった

【事業の類型ごとの取組の実施結果】 (高知県 黒潮町)

| 事業の類型 | 実施結果 ◎, ○, △, ▲, - を記載 | 令和 4 年度末時点の取組の概要・状況など |
|---|------------------------------|---|
| (ア) 多様な災害リスクに対応した個別避難計画の作成に関するもの | ○ | <p>地域調整会議を経て個別避難計画を作成することとしている。また、その計画の中に「地震津波」「予測災害」「南トラ地震臨時情報」の三種類を記載することとしている。「地震津波」については作成のハードルが高いこと（支援者の確保等）が課題である。</p> <p>そういった中で、関係者が集まる地域調整会議を実施することで支援者の発見につながった。一方で支援者が見つからない方もいる。</p> <p>今後も引き続き、地域調整会議を実施し、三種類の災害に対応した個別避難計画を作成していく。</p> |
| (イ) 特別支援学校に関するもの | - | |
| (ウ) 難病患者等の医療的ケアを要する方に関するもの | - | |
| (エ) 防災・減災の整備等と個別避難計画等のソフト事業との一体的な検討に関するもの | - | |
| (オ) 大学等の有識者等との連携に関するもの | ○ | <p>これまでに大学関係者が防災全般に関わっていただいております、取組の背景等を理解していただいているため、相談等がしやすい状況にある。</p> <p>福祉避難所や避難訓練、地域調整会議について、オブザーバーとして参加いただき、助言等をいただいている。</p> <p>訓練では現地に来れなくても、資料・議事・動画等を確認いただいている。</p> <p>今後も研修等ふまえ、引き続き参画のお願いをしている。</p> |
| (カ) 避難訓練や更新等を実施などにより、顔の見える関係性を維持し実効性を確保するもの | ○ | <p>個別避難計画に基づいた避難計画を実施していたことから令和 4 年 14 号台風時には避難支援を行い、福祉避難所へ避難することができた。なお、これを踏まえて、個別避難計画を修正した。また、他の方についても避難訓練を実施し、課題等に対応するため、計画を修正した。</p> <p>訓練を実施するにあたり、事前にご本人との調整や福祉避難所との調整等に時間がかかり、件数は伸びていない。</p> <p>今後も引き続き地域調整会議を開催し、地域と一緒に避難訓練を実施し、実効性の確保に努める。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| (キ) ケアマネ事業所等のBCPとの連携に関するもの | — | |
| (ク) 施設入所者が在宅に移る場合の施設と市町村の連携に関するもの | — | |
| (ケ) デジタル技術の活用に関するもの | — | |
| (コ) その他のもの | — | |

◎：成果を十分得ることができた

○：一定の成果を得ることができた

△：あまり成果を得ることができなかった

▲：ほとんど成果を得ることができなかった

—：取り組んでいないもの

【研修会や説明会等の講師等の一覧】

| 氏名 | 所属・役職 | 研修会や説明会等 | |
|----|-------|----------|----|
| | | 名称 | 概要 |
| | | | |

【取組に参画している関係者の一覧】

| 取組の種類 | 概要（参加者等） | 備考（巻き込む工夫など） |
|-------------------|---|-----------------------------------|
| 個別避難計画の作成に参画した関係者 | 区長、自主防災組織、民生委員、消防団、社協、ケアマネ、NPO法人しいのみ、防災福祉に関する有識者（オンライン） 避難訓練についても上記と同じ。 | 事前に丁寧な説明を実施。 場合によっては複数回の説明を実施。 |
| 地域調整会議 | 区長、自主防災組織、民生委員、消防団、社協、ケアマネ、あったかふれあいセンター、防災福祉に関する有識者（オンライン）、町職員 所要時間：1～2時間 開催回数：6回 参加のべ人数：70人 | 地区や民生委員には事前に説明を実施。 |
| 避難支援等実施者 | 区長、民生委員、親族、近所の方 | 地区防災の一環であることを説明し、地域で考えてい |

| | | |
|--------------------|---|------------------------------------|
| | | ただいた。 |
| 避難支援等関係者 | 区長、自主防災組織、民生委員、消防団、社協、あったかふれあいセンター、消防、警察 (駐在所含む) | 地域防災計画へ記載済み |
| 避難訓練への参加者、参加機関や団体等 | 区長、自主防災組織、民生委員、社協、あったかふれあいセンター、 | 地域調整会議内で訓練の話をしたことや、場合によっては個別に話をした。 |
| その他 | | |

※第4回ノウハウ共有ミーティングの意見交換会用資料として作成いただいた、「●●市の背景や取組の概要など」を基に記載してください。

【人員の確保状況】

| 個別避難計画の作成に関する人員体制 | | | |
|-------------------|-------|-------|-------------|
| 部署名：健康福祉課 | 専任（名） | 常勤： | 会計年度任用職員： |
| | 兼任（名） | 常勤：1名 | 会計年度任用職員：1名 |
| 部署名：情報防災課 | 専任（名） | 常勤： | 会計年度任用職員： |
| | 兼任（名） | 常勤：1名 | 会計年度任用職員： |
| 部署名： | 専任（名） | 常勤： | 会計年度任用職員： |
| | 兼任（名） | 常勤： | 会計年度任用職員： |

【予算の確保状況】

| 個別避難計画の作成に関する予算 | |
|-------------------|------------|
| 令和3年度決算額 | 642,000円 |
| 令和4年度決算見込額 | 2,810,000円 |
| 令和5年度当初予算額 | 1,300,000円 |
| 特に予算措置なし | |
| (参考) 避難行動要支援者数(人) | 243人 |

※避難行動要支援者名簿や個別避難計画に関する予算がある場合、予算書の写しを添付してください。
(公表されているもの)

【個別避難計画の周知、普及・啓発等のために作成したもの】

| 媒体の種類別 | 実施内容の種類別 | 概要(タイトル、URLなど) |
|--------|----------------|----------------|
| 紙媒体 | 広報誌 | |
| | チラシ | |
| | ポスター | |
| | 町内会や自治会などへの回覧物 | |
| | リーフレット | |
| | その他 | |

| | | |
|------|--------|--|
| 電子媒体 | 動画 | |
| | 広報誌 | |
| | SNS | |
| | ウェブサイト | |
| | 広報番組 | |
| | その他 | |

【個別避難計画作成の取組のイメージをつかむのに役立つ報道や講演などの動画や資料など】

| |
|--|
| |
|--|

【参考にした他市町村、関係団体等の取組】

| |
|--|
| |
|--|

【個別避難計画 1 件を作成するのに要した時間等】

| | R3 年度 | R4 年度 | R5 年度 | R6 年度 | R7 年度 | R8 年度 | R9 年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| のべ人数 | 11 名 | 33 名 | 150 名 | 50 名 | 50 名 | 50 名 | 50 名 |
| のべ時間 | 22 時間 | 20 時間 | 75 時間 | 25 時間 | 25 時間 | 25 時間 | 25 時間 |